

# LogVillage2.0

## Version:2.4.1.2c リリースノート

この資料は、LogVillage2.0 v2.4.1.2c のリリースノートです。  
変更内容は下記の通りです。

### 記

#### <マネージャ>

##### ■仕様変更

##### 1) エージェント用 dat ファイルの一意チェックを変更

・エージェントからアップロードされた dat ファイルの一意チェックを以下の通りに変更しました。

(変更後)

- ・HostID が付与されているエージェントの場合、HostID で一意チェックを行う。
- ・HostID が付与されていないエージェント(初回実行)の場合、「UUID+資産管理番号」で一意チェックを行う。

(変更前)

- ・HostID 付与の有無にかかわらず、「UUID+資産管理番号」で一意チェックを行う。

以上

#### <お問い合わせ先>

本製品に関するご意見、ご質問はメール、TEL、FAX にて下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせの内容によっては、返答に多少お時間をいただく場合がございます。予めご了承下さい。

〒135-0032 東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F

株式会社 蒼天サポートセンター

e-mail :

TEL : 03-5809-8406

FAX : 03-5809-8495

受付・対応時間 : 月～金曜日(祝祭日、年末年始休暇を除く) 10:00～17:00

<過去のリリースノート>

◇2018/8/3(v2.4.1.2a)

■仕様変更

1) 管理対象 PC 画面

- ・エージェントのバージョン名表示を追加しました。

◇2018/7/9(v2.4.1.2)

■新機能

1) 資産管理:共有フォルダー一覧

- ・共有フォルダ名、パスの表示、各共有フォルダの共有アクセス権限、NTFS アクセス権限を表示する画面を追加しました。

2) 資産管理:ドライバー一覧

- ・インストールされているドライバーを一覧表示する画面を追加しました。

3) 資産管理:保管ファイル

- ・管理対象 PC に保管されているファイル(検索対象に任意設定した拡張子のファイル)を表示する画面を追加しました。
- ・対象拡張子は以下より行います。

システム設定→グループ単位設定→検索対象拡張子

■仕様変更

1) 資産管理:UUID がないインベントリーデータの DB 登録

- ・何らかの問題で UUID が取得できていないインベントリーデータの DB 登録を可能とする修正を行いました。
- ※従来は UUID が空白のインベントリーデータは DB 登録から除外(リジェクト)していました。

◇2018/2/12(v2.3.2.82)

■仕様変更

1) インベントリー情報の DB 登録

- ・未使用 NIC 名が空白または文字化けの場合に当該 NIC 情報の登録をスキップする仕様に変更しました。

■新機能

1) インベントリー情報の追加

- ・WSUS 設定情報、HDD 暗号化情報(SecureDoc)を追加しました。

◇2018/2/9(v2.3.2.81a)

■仕様変更

1) エージェント取得のインベントリー登録

- ・同一コンピュータ名のインベントリー登録が可能な仕様に変更しました。
- ・エージェント(含む、Linux & macOS 用変換プログラム)よりアップロードされたインベントリーデータファイルをデータベース登録後も LogVillage マネージャ内に保管する仕様に変更しました。

◇2017/12/22(v2.3.2.81)

■新機能

1) ハードウェア台帳

- ・管理対象 PC 詳細画面に、以下の項目を追加しました。
  - －論理ドライブ情報   －DHCP(On/Off)   －DHCP サーバ
  - －最終ログイン日時   －最終ログインユーザ   －BitLocker(ドライブ毎の On/Off)

2) 常駐エージェント対応機能

- ・常駐エージェントのインベントリ収集スケジュール設定を「ログ収集スケジュール」画面に追加しました。(ALL グループにのみ表示)
- ・常駐エージェントの自動バージョンアッププログラムの保管場所を追加しました。